



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆がおそろしいこととは知っていたが、今回の授業でおそろしさと同時に悲しさやつらさを感じました。映像に出てくる原爆当時の写真が、今ではありえないような悲惨な写真で自然に目を背けてしまいました。写真だけでも目を背けてしまうような悲惨な光景を目の当たりしたり…と考えるだけで全身が震え上がってしまう不気味な感覚を何度も授業中に感じました。

原子爆弾の熱の温度が球体の真ん中だと100万℃と聞いてびっくりしました。600mは離れた地場でも3000℃という異常な温度でした。約1500℃で建て物や人間がとけてしまふと聞いたので、原爆が落ちて、多くの人を命を一瞬で奪ってしまう原子爆弾はとても怖いものだと思います。さらに、生きているだけで奇跡なんだと命の尊さと大切さを感じました。

今回の授業で1945年8月6日に起きた原爆を次の世代に継ぐ意味を学びました。



名前は裏面に記入してください

じゅごう
原爆先生の特別授業を受講して

表

私がそうそうしていた100倍ほど広島原爆の出来事はひどくて、悲しいものだった。

あと実際に体験した義三さんはもともと人生の中で一番地獄の様なものだったと思う。

そして被爆者の方たちのうでをつがんだ時にそのうでの皮膚がズルッとむけて中。肉や脂肪骨までもがむき出しになってしまったり、「兵たいさん、助けて...」と言っている方たちが沢山いたという話を聞いて胸がいたみ、涙が出そうになった。図書館の本で原爆の被爆者の方達についての本があり、私はそれを知らずにみて、ビックリしました。そこにはこけたお弁当箱や、残った衣服等の写真があった...

今回、映像や手記を読んでもくれた池田さん。そして、未来のために手記を残してくれた池田さんの父、義三さんに心から感謝を伝えたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/12

原爆先生の特別授業を受講して、私は、原爆の悲惨さがよくわかりました。受講する前は、なぜ広島と長崎に原爆を落としたのかや、どうして原爆が落ちた後の雲は黒いのかなどわからないことがたくさんありました。ですが原爆先生の授業を聞いて、原爆はなぜおとされたのか、原爆投下の条件など様々なことが分かりました。

原爆体験者の話を聞くのは、初めてだったので社会の授業で習ったことよりもずっと衝撃が大きかったです。この特別授業で学んだことを自分より下の世代にも伝えていきたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

殺

私は、原爆先生の特別授業を受けて、今までまったく知らなかった事を沢山知りました。一番印象に残っているのは、原爆を体験した人が残酷な姿で助けを求めているところです。皮膚がはがれていたり、酷い火傷をしていたり。見ていて自分もけがをしているかのような気持ちになりました。

助けてたくても助けられない気持ちは、とても悲しいし、とても複雑な気持ちです。あと、義三さんが広島におとずれて、原爆資料館に行った時、「きれいすぎる…」と言葉にした時私は「これで本当にきれいなんだ」と感じました。実際は、もっと残酷な姿なんだと思いました。原爆はいっしょんで、何人もの命がうばはれてしまいます。こんなことが一生ないように世界中が平和になってほしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゆこうの特別授業を受講して

表

2/12

最初はこの原爆のことについてあまり深く考えていなかったが、今日の特別授業を受講して、原爆のすごさや爆発直後の大変さを感じて当事者の方々の辛さを学び、悲惨だなと思った。そして、この出来事についてもっと深く触れていこうと思った。

原爆が爆発したときにきのこ雲ができるか、その原因がずーとわからないうままだった。でもこの授業できのこ雲ができるまでの過程を知って、抱えていた疑問がなくなるとともに原爆のすごさをより深く感じた。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

池田さんの話を聞いて、私は強く心を打たれました。その上で、いくつか感じたことがあります。まず、原爆はもう来ないから気にしなくてもいい、と思っはいけないということ。今でも、原爆によって苦しめられている方は沢山います。もう80年もたちますが、心の奥底には当時の悲惨な思い出がまだ残っている方も沢山いると思います。だから、他人事として考えてはならないということも、心から実感しました。もう一つ、原爆によって沢山の人の命が奪われたということ。一瞬にして、そして簡単に多くの人々の命をなくしてしまう原爆は、決して良いものではないと思います。人の外にも、多くの建物などを破壊した原爆は、歴史に大きな傷痕を残したことを、忘れてはいけないということも知らされました。

あの時、広島で何が起きたのか、そして、あのキノコ雲は何のためだ、たのか、被爆者ほどのような思いで今を生きているのか、原爆の恐ろしさを、「平和」がどれだけ大切なことなのかを、後世に伝えなければならぬのかもしれない、と最後に私はふと感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは戦争を経験していません、原子爆弾
がどんなにおそろしいものかもあまり分かっていません
でした。しかし義三さんや原爆先生が原子
爆弾がどれだけおそろしいものを教えてお
りました。例えば広島市人口35万人の中
の24万人の人々が被爆してその中の14万人の人々
が亡くなったと聞いて、ぼくはなみだが出そう
でした。たった何秒間で14万人の命が消えると思っ
てもおそろしいものだと思いました。だからぼくたちは戦
争がある時代に生れなくてよかったと思うのでは
なく、義三さんや原爆先生が教えてくれました。こ
の悲惨なできごとを途切れないようにするた
めに次の世代にも伝えていきたいと思いま
した。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は、広島に行った事がありました。
その中で、原爆資料館など、原爆に関する
場所へ行きました。

僕は、その時、何かあったか、そういう事を、知っ
た、そう思いました。

しかし、今回の授業を受講している時思っ
ました。僕は、実際には知っていなかったと。

特にそう思ったのは、義三さんが残した動画で、
実際に原爆を体験した義三さんが、原爆
資料館で、「ぬる過ぎる」といような事を言った
時でした。

自分が原爆資料館で見た物、あんなに怖い
と思っていた物が、ぬる過ぎる？

この時、実際には、本当に、生き地獄のようだ
と、原爆の恐ろしさに驚くと同時に、
原爆、そして戦争その物が、絶対にいけない
ことだと、僕は、思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/12

原爆先生の特別授業を受講して、私はど「れた」
け今の時代が平和かがおかりました。こ
の特別授業を受講する前までは熱線や
衝撃波、放射線等の原爆の^{恐ろ}しさを
あまり知りませんでした。池田義三さん
の行動や気持ちをしていぬいに聞かせてく
れたため、理解しやすく、心に刺さりやすかた
です。私は3月に原爆ドームを見学したり、
原爆資料館に行く予定があるので、原爆
先生の特別授業のことを思いながら、広
島の地に立ちたいと思います。この特別授
業を通して、私自身の原爆に対する気持ち
や思いは大きく変わり、私も大人になら
ば池田さんのように、少しでも原爆につ
いて知ってもらうために考えていきたい
と思いました。今日は特別なことを教え
てくれて本当にありがとうございました。
した。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

証言で、会社の階段に座っていた人が原子爆弾が爆発しとんでもない熱風が吹いたその時、その人の影がしみと一瞬で消えてしまった。というのを聞いて恐ろしいとは感じたものの、映像を見てもただ想像できずに頭の中は茫然としていました。原爆が爆発した後何故、きのこ雲がでるのかも自分の中で良く分かりませんでした。しかし、池田さんの言葉、そして、映像でよく分かりました。ぼくの祖母は京都府出身で、戦争中も京都にいました。その祖母がいた京都に原子爆弾が投下されていたかもしれないことを今日聞くと、ヒヤヒヤする気持ちが止まりません。印象として残ったのは原爆が爆発した時のショック波です。音速を越えるショック波があったと聞いた時は、とてもおどろきました。この授業を通して、疑問に思っていたことも多くあったが、解決できたことも多かったです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕が最初に原爆が「小布の武器だ」と思った。
 なせなら原爆で「沢山の人々がなくなっ」と
 前に母から聞いたからだ。
 たった、原爆で「なとて」ことなに人が
 なくなるのかと思ったことが「ある
 それを原爆先生に教えてもらった。
 原爆先生の特別授業の映像で
 原爆が落ちて沢山の人々がなくなっ
 り、人の肉が土面に落ちたことを
 見て月匈が「いたくなくなった。
 また、僕はなとて「人間は原爆を使っ
 たらうか。原爆を使った人は得をするのか
 僕は、得はしないと思っなぜなら、人が
 なくなってしまうからだ」
 これから僕達がやる事は、原爆の被害
 平和の大切さを世界に伝えることだ「うら
 かに原爆を無くし、戦争をさせない世界を
 僕たち人間が「作りたい。この考えは、原爆先
 生の特別授業を受講したから「強くなったと思っ



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

④

本当に悲しい話でエノラ・ゲイという戦闘機が広島に原爆を落して14万人の人が亡くなりました。

そしてその原爆の名前はリトルボーイですがこの名前を初めて見てなぜこの名前にしたのかきになった。

原爆が病院に落ちてそこから真空地帯からいき空気が中に入りこんでものすごく強い上昇気流ができてそれで飛ばされた人もいると思う。それは本当に痛々しいことだ。

今残っている原爆ドームの近くには広島平和公園というのがあるそこには当時に原爆をくらした人のシクリカの人形がありそれだけでもとても非さんた。たんだなとわかるが本物を見た人には、またきれいなすき(彦良や体)と言っている。それにほくは、(うそでい)と思った。たかそんなに見るのも苦しか、た物たったのたらうと思う。

この受講を受けて義三の動画を見てとてもふるえてい。て言うたけでもつらかったのた。と思。実物を見るまひもなく悲しさがとても伝わってきた。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゆこウの特別授業を受講して

表

2/12

僕は原爆先生のお話を聞いて
原子爆弾が投下された当時の悲惨
が心の芯に伝わった。

エノラガイから落とされた
リトルボーイ、それは一瞬にして
直経3kmを越える広島市のほとんどを
焼け野原にしてしまったのだ。

その一瞬にして14万人以上の人々が亡くな
った。防火用水の中で蹲りながら亡くなった
人たち、元安川では多くの人が積み重な
って亡くなっていた、と聞いた。

僕はお話を聞いている最中、

「悲しい」という簡単な感情ではいい何か
複雑な感情が生まれた。

被爆してから今年で80年、僕は広島県に足を
運んでみようと思った。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

戦争を身で感じた方から、ちゃんと話を聞いて、あらためて、自分はこの時代に生まれてよかったと思っ、たし、約4七もあるものか、空から来てるねんことでもおそろしいと思っ、た、兵隊の方達が、亡くな、た方がど木だけ苦しい思いをしたのかか、伝書、た。き、と和か、思っ、た以上につらい思っ、いや、悲しい思っ、て来たと思っ、う。和達か、今、こうして、いかりご飯を食べて安全に暮らして、いるのが本当に幸せな、たと思っ、身を持って感、じた。

流川で、義三さん達が見た防火用水の話か、御幸橋の話か、特にゾッとした。きっと必死に防火用水の桶の中に入、たのだらうと思っ、う。それを見た義三さん達はより恐ろしいと思っ、う。恐、怖を感じ、たに違っ、ない。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

特別授業を受けて、いろいろお話を知りました。
 原子爆弾の仕組みを義母さんの言葉で経験、映像放映
 と一緒に学びました。電卓のよきお話が走りながら
 事象もまた話しを聞いたら原爆爆心4+2の所
 に行き写真などを見ました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

僕はさらに原爆の恐ろしさを実感します。原爆は何万人もの人々の命を二回に渡りうばいました。その中で奇跡的に救われた人もいます。しかし、原爆後遺症などが原因で亡くなったり、今もなお苦しんでいる人がいます。なので、原爆は必ずなくさなくてはならないものだと思っています。また、原爆だけでなく核兵器や銃など人を殺したり傷つけたりすることにつながるものは、数を減らして減らしていくべきだと思っています。これが実現すれば、原爆経馬会者や戦争経験者に限らず、世界中の人が安心して暮らせるような世の中を作っていくことができると僕は思います。このように僕は今日の原爆先生特別授業を通して、原爆のことに限らず、色々なことをたくさん学びました。そのおかげで自分の知識も増えました。この経馬会は僕の財産になりました。原爆先生ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

この授業を聞いて、戦争というものはどうい
ものかがすごくよくわかりました。前半の映像を
見た時に、本当に普通に生活をしていたら、急に
原子火焼弾が落ちてきて、たくさんの方が亡くなっ
てしまった事が良くわかりました。私はその映像を
見た時にすごく恐ろしく、二度とあってはならない
事という事を実感しました。

後半には、原子火爆弾のしくみや投下都市の条件を
説明してもらいました。最後には、義三さんの
手紙の内容を聞きました。この授業をとおして、
戦争についてよくわかりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、平和の素晴らしさを改めて実感しました。私は
広島と長崎の資料館の両方に行、たことがあるのですが、
そこに行、た時より、はるかに強いショックを受けました。
17才という高校生くらいの少年が、一生忘れることの
ないほどつらい経験をしなければならな、たことを
知り、戦争のおそろしさを強く感じました。

今、私は日本で平和な生活をしています。私が生活して
いる中でも戦争のニュースなどは聞いていましたが、他人事
のように考えていました。しかし、今回の特別授業で、
自分が戦争も起きている世界の中で平和に生きている
ありがたみを実感することができました。

今回のような悲さんな出来事を真剣に学ぶ機会を
作、てください、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今ではたくさんのビルが建ちならび、人口も多い広島で、80年前に、あのおそろしい原子爆弾が落とされるなんて、と思いました。衝撃波や高熱で破壊された建物や、高熱によって大火傷を負ってしまっただんたち、不幸にもせくなされた人たちは、辛くて、想像もできません。

今日、あらためて、原爆は本当に良くない、まして原爆を落とした戦争は本当に良くないと思いました。

原爆で、思っていたのよりも本当にたくさんのぎせい者が出てしまったことも、とても実感しました。また、原爆を経験した池田義三さんは、映像で、原爆のことを泣きながら、語っていました。

今日の授業で、たくさんのぎせい者を出した原子爆弾や戦争は、もう二度と起こしてはいけないということも、とても強く感じました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

私はこの話しを聞いて、一番思、たことは、
もうこんなことが起らないでほしいという
ことです。

いつも先生が授業で言、ていても頭には入、て
くるのですが、昔の話という感じがして、遠く
感じていました。ですが、原爆先生の話しを聞いて、
映像を見て、とても、近いことのように感じました。

原爆は、太陽よりも千度温度が高く、中心部は
百万度の熱さもあ、て見ているだけで怖、かった
です。死体の処理などの説明なども聞いて、
「本当にこんなことが起きていたんだ」と思いました。

私はそういう話しを聞いているうちに「私はとても
幸せ者なんだ」と実感しました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

「おだやかなで産業も盛んである広島が八十年前
に一発の原子爆弾で十四万人の命が失われ焼酎
野原になり、想像を絶する世界に胸が痛く
なりました。でも、このひさんであつたことは現
実なので、風化しないために話を聞くなど
する必要があることを改めて感じました。
今、日本ではあたり前に平和があるけれど、
それがどんなに幸せで尊いことかが分
かりました。怖か。たけど、ほとんど目を開け
て授業を聞いてよか。たです。義三さんは
死体を運んだり、消火活動をしたりと、この
時代ではあたりまえだ。たかもしれないけれど、
勇気があつてすごいと思いました。でも、
人間が人間じゃない、ていうところはおぞまし
か。たです。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の、当時の話を具体的に聞いて、
その場から逃げたがしたくなるような、恐怖を
感じました。

熱線や衝撃波、放射線で、人がまるごと
ないかのようになっていたこと。

たくさんの方が亡くなってしまったこと。

家に帰るとなると、すくホッとしたこと。

と、どれも、聞いた人も語りつく人も、心が苦しく
なったと思います。

この授業を聞いて、中学生には、平和は大切なこと
と、頭のすみに入れながら、生活しようと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

名前は裏面に記入してください

2/12

授業よりも直接話を聞いたので、理解が深まりました。

そして二度と起こればならないことを聞いてきました。映像もふくめて詳しく伝えられて本当に二度起こればならないことを知る事が出来ました。戦争の悲惨さを肌で感じる事ができてとても良い経験でした。

原爆が落とされて、その後には、原爆症があたり、その威力を知れたり、怖いのでも恐ろしいものだと思います。



名前は裏面に記入してください

じゆこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

正直、すごくしょうげきを受けて
しました。なぜなら100万 $^{\circ}$ の熱
が人間の体にあたり、焼けて、
死亡するなんて、想像できないほ
どでした。しかも毎秒440mで
衝撃波は、高熱で周りを熱くし、
440m/秒でとても走り走さでおそ
うので、全て建物もこわされるなんて
とても、しょうげきを受けました。
広島市人口、35万人のうち被爆者24
万人で、死亡者14万人で、死亡率40%
ってもう聞くだけで自分も死に
そうになります。



名前は裏面に記入してください

じゆこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆があることは矢口でいたけれど、
実際に話を聞いて、原爆とは
こんなにも多くの人の命をうばったもの
だと実感した。だから原爆は今後
絶対文寸にかつてはいないことを
思います。